



あらゆる福島の内側へー

2026

福島映像祭

会場：日比谷コンベンションホール 主催：OurPlanet-TV

9/22 火 ▶ 9/23 水



放射性よう素測定結果 平成28年5月12日 (単位: Bq/m)

地点	時刻	測定結果
宮田	8:26	I-131: 41 Bq/m ³ Cs-137: 43 Bq/m ³
宮田	8:36	I-131: 21 Bq/m ³ Cs-137: 3.1 Bq/m ³
宮田	8:37	I-131: 12 Bq/m ³ Cs-137: 1.3 Bq/m ³
宮田	8:47	I-131: 4 Bq/m ³ Cs-137: 2.3 Bq/m ³
宮田	8:39	I-131: 37 Bq/m ³ Cs-137: 1.8 Bq/m ³
宮田	8:49	I-131: 73 Bq/m ³ Cs-137: 7.3 Bq/m ³

宮田 8:26 測定結果

宮田 8:36 測定結果

宮田 8:37 測定結果

宮田 8:47 測定結果

宮田 8:39 測定結果

宮田 8:49 測定結果



■上映日=9/22(火)11:00-

FUKUSHIMA REPORTERS ~KEEP THE CAMERAS ROLLING~

A



上映後トーク (30分)

佐藤 崇 (元福島中央テレビ 常務取締役報道局長)

(2013年/50分/ドイツ・日本)
ディレクター: Patrick Horl, 松本 圭
製作: Authentic, きさくや、福島中央テレビ
2011年3月、東京電力福島第一原発1号機の水素爆発をメディアとして唯一撮影し世界に報じた福島中央テレビ。事故を当時どう伝え、その後、どんな思いで福島を伝え続けているのかを描く国内未放送の国際共同制作ドキュメンタリー。

※参考上映 (上映料無料/要トークイベント料金)

■上映日=9/22(火)13:30-

飯館村 わたしの記録

B



上映後トーク (20分)

長谷川 花子 (飯館村婦人会会長) × 渡辺 一枝 (作家)

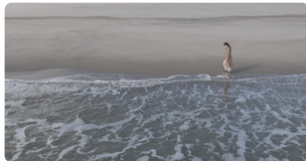
監督・撮影: 長谷川 健一
構成・編集: 細谷 修平
製作・配給: OurPlanet-TV

原発事故後、飯館村は全村避難となり6,200人もの住人が村を追われ避難生活を強いられている。酪農家として、家族とともに暮らしてきた長谷川健一さんはビデオカメラを購入し、独学で撮影をはじめた。長谷川さんが伝える、「あの日」からの日々の記録。

■上映日=9/22(火)15:30- | 9/23(水)15:30-

波打ち際に足跡を残す

C-F



上映後トーク (30分)

[C] 白石草 (監督) × 蟻塚 亮二 (精神科医)

[F] 白石草 (監督) × アイリーン・美緒子・スミス (環境NGOグリーンアクション)

監督・プロデューサー: 白石草
スーパーバイザー: 渡辺 一枝
製作・配給: OurPlanet-TV

福島第一原発事故後、福島県では、400人もの子どもが甲状腺がんを診断されている。しかし、当事者は名前や顔を出すことはおろか、存在さえ隠して生きている。そんな空気を変えたい。甲状腺がん裁判の最年少の原告であるこはくが、自らの言葉を語り始めた。

■上映日=9/23(水)11:00-

原発事故報道15年を振り返る

D



上映 & トーク

七沢 潔 (ジャーナリスト/中央大学法学部客員教授)

メディアは福島第一原発事故をどう伝えてきたのか。長年、原発問題に取り組んできた辣腕のジャーナリストとともに、この15年を振り返る。復興に光が当たった一方で、何が、何故切り捨てられ、タブーとされたのか。戦後最大の過酷な人災事故でありながら、被害実態の矮小化や忘却を招いたメディアの責任とは。データや映像資料を交えながら、徹底検証する。

※参考上映 (上映料無料/要トークイベント料金)

■上映日=9/23(水)13:00-

三角屋の交差点

E



上映後トーク (20分)

山田 徹 (監督)

監督・撮影: 山田徹
プロデューサー: 加藤成子
製作・配給: インプレオ

福島県浪江町で活版印刷業を営んでいた家族が、福島第一原発事故によって故郷からの避難、そして家業の廃業を余儀なくされる。非常時が露わにした、家族の役割や関係性の変化、それぞれの思い。震災から15年。福島「その後」を見つめた3年間の記録。

福島映像祭は、福島や3.11にまつわる、多様な映像を集めて上映する映像祭です。3年ぶり11回目の開催となる今回は、厳選した全5プログラムのうち1作が初公開。また2つのプログラムでは他では見ることができないテレビ作品を上映します。各回すべてゲストトークを予定しています。

タイムテーブル

09.22 TUE

A 11:00-12:30

『FUKUSHIMA REPORTERS』

B 13:30-15:00

『飯館村わたしの記録』

C 15:30-16:30

『波打ち際に足跡を残す』

09.23 WED

D 11:00-12:30

『原発事故報道15年を振り返る』

E 13:00-15:00

『三角屋の交差点で』

F 15:30-16:30

『波打ち際に足跡を残す』

チケット

お得な1日券は前売りのみ!
QRコードからお申込みください

1日券 2,000円

- ・前売りのみ (9/21までPeatixにて販売)
- ・ご購入時に日付をご指定ください

1回券 1,500円

- ・当日のみ (会場にて販売)
- ・1プログラムのみ入場可能



入場は先着順。座席指定はございません。
開場は各プログラム開始時間の20分前となります。
お時間に余裕を持ってご来場ください。

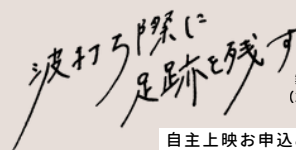
会場

日比谷図書文化館
日比谷コンベンションホール
東京都千代田区日比谷公園1-4地下

- 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩3分
- 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口より徒歩3分
- 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩3分



【主催・お問い合わせ】認定NPO法人OurPlanet-TV
東京都千代田区神田猿樂町2-2-3NSビル202
Email: fffmf@ourplanet-tv.org TEL: 03-3296-2720



ドキュメンタリー
監督 白石草
製作・配給: OurPlanet-TV
(2026年/35分/ブルーレイ)

自主上映お申込み受付中
ourplanet-tv.org/namiuchigiwa/